

えびの

市議会
だより

第138号

令和5年11月20日

Ebino City Assembly Report 2023/11/20 Vol.138

12月定例会は
11月29日(水)
開会予定

9月定例会概要

令和5年9月定例会は、9月1日～22日までの22日間開催し報告3件、議案11件、認定7件について審議しました。

審議結果の詳細については5～9ページをご覧ください



◆条例改正に関する議案◆

【議案第40号】

えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末機による、印鑑登録証明書の交付について、個人番号カードに加え、スマートフォンに搭載された電子証明書の利用を可能とするため、条例の一部を改正するものです。

【議案第42号】

えびの市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

令和5年5月1日付で市立病院に着任した常勤医師が、精神科を専門としており、精神科を市立病院の診療科として標榜し、市立病院の診療機能の拡充を図るため、条例の一部を改正するものです。

◆予算に関する議案◆

【議案第43号】

令和5年度えびの市一般会計予算の補正（第4号）について

・ 移住者住宅取得支援金	210万円
・ タクシー利用助成金	557万8千円
・ 公共施設等整備基金積立金	3億3,188万3千円
・ 和牛繁殖基盤緊急対策事業補助金	486万円
・ プレミアム付商品券発行事業補助金	4,271万2千円
・ 国立公園90周年記念事業委託料	386万円
・ 学校給食費負担軽減補助金	1,825万9千円



【認定第1号】

令和4年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について

◇令和4年度の主な事業◇

・心のふるさと寄附金推進費	8億2,600万7,741円
・ふらいど21事業費	2,091万2,550円
・地域公共交通対策費	1,739万778円
・電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業費	1億7,433万5,763円
・ひとり親家庭支援事業費	9,629万4,235円
・出産・子育て応援交付金事業費	822万7,885円
・美化センター運営費	2億6,184万8,971円
・道の駅運営事業費	969万7,943円
・担い手対策推進事業費	922万4,671円
・畜産振興事業費	9,729万4,403円
・アウトドアシティ推進事業費	2,317万1,934円
・白鳥温泉施設管理費	2,017万5,375円
・えびの高原キャンプ村管理費(明許繰越)	3,680万9,998円



◇人事案件◇

・過疎対策事業費	1億5,827万9,965円
・定住促進住宅改修事業費	2,154万7,504円
・就学支援事業費	4,479万9,930円
・文化センター改修事業費	1億3,119万1,989円
・永山運動公園整備事業費	1億1,955万4,119円
・現年発生公共土木施設災害復旧費	5,115万4,261円



新たに教育委員会の委員が任命されました。

・えびの市教育委員会

委員

御手洗 英次 氏



10月臨時会概要

令和5年10月臨時会は、10月3日の1日間開催し、正副議長の選挙や常任委員等の選任が行われ、新たな議会構成が決まりました。また、議案2件について審議しました。

新しい議会構成については20～21ページをご覧ください。



◇予算に関する議案◇

【議案第50号】

令和5年度えびの市一般会計予算の補正（第5号）について

- ・ 日米共同訓練対策費（時間外勤務手当等） 147万3千円
- ・ 八幡丘公園整備事業費（工事請負費） 858万円

◇人事に関する議案◇

【議案第51号】

監査委員の選任について

- ・ 監査委員（議会選出） 小宮 寧子 議員

議会傍聴

しませんか

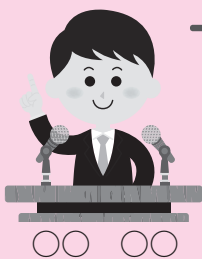
えびの市議会では年4回「定例会」を開催します。定例会は約1ヶ月かけて行われ、多くの議案を慎重に審議します。予算の執行状況や現状、今後の方針などについて説明や報告を受けます。このほか市政についての一般質問を行います。

えびの市議会では、公正性及び透明性を確保するために市民に開かれた議会を目指しております。

手続きは本会議当日に、本庁3階の議会事務局で自分の住所・氏名を傍聴申請書に記入するだけで、ごなたでも傍聴できます。

ただし、ルールやマナーをお守り下さい。

一般質問にあるQRコードは何？



議員



このQRコードを読み取ると各議員の一般質問の動画を観ることができます。



令和5年9月定例会

総務教育

常任委員会

報告

9月定例会において、当委員会に付託された議案3件・認定2件の審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定すべきものと決まりました。

以下、主な議案等の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第42号 えびの市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

令和5年5月1日付で着任された内科の常勤医師が、精神科も専門とされていることに伴い、えびの市立病院の診療科は現在の内科・外科・整形外科・放射線科・リハビリテーション科の5つの診療科に精神科を加え、6つの診療科とするものです。精神科が加わることで、身近な医療機関での適切な医療提供の効果や、経営面でも患者数の増加や収益の増に繋がることを期待していま

す。

Q 今回、えびの市立病院に精神科を新たに診療科目として加えた後の、アフターケアや受け入れ体制はどのように考えているのか。

A えびの市立病院は精神科の専門病院ではないため精神科病床はないが、軽い認知症で不安があり、えびの市立病院の一般病床で対応可能な患者は、医師の判断で一時的な入院は対応出来るが、主には近隣の精神科の病院等への紹介等で医療連携をはかる。えびの市立病院で精神科の専門医師に診てもらえることは良いサービスになるのではないかと感じているが、えびの市立病院の体制だけでは対応出来ない部分が多いため、サポート体制が必要である。また、地域包括ケアシステムの構築にあたり、地域において精神疾患の患者が多い状況だと認識している。地域の中でも体制が取れるように可能な限りは診療を行い、精神科の臨床心理士や専門の看護師は不在だが、地域医療連携室の医療ソーシャルワーカーが患者や家族に寄り添った相談体制を取れるように努める。

②認定第6号 令和4年度えびの市水道事業会計決算の認定について

Q 料金水準の妥当性を示す料金回収率が、令和4年度に関しては前年度比0・24ポイント減の85・65%となっている。過年度分の未収金1,394万7,298円の回収状況は。

A 未収金は、水道経営を圧迫する1つの要因となっている。令和4年度において、定期4回・契約不履行1回、計5回の給水停止を実施して、対象未収金総額約201万円、対象者54人に対して、給水停止継続未収金約17万円、給水停止継続者12人。この他は、一部入金及び誓約書により分納で回収している状況である。不納欠損は、安易に債権放棄することなく調査を行い、死亡又は居所不明について徴収を停止し、10年経過したものを処分している。債権回収は、今後も調査研究を行い徴収率の向上を図り、不納欠損を減らせるように努める。(令和4年度分未収金499万4,687円は、令和5年8月31日現在で355万5,469円の収納を受けている)

③認定第7号 令和4年度えびの市病院事業会計決算の認定について

Q えびの市立病院の公立病院としての在り方を示す、「公立病院経営強化プラン」の策定の進捗は。

A 国からのガイドラインの趣旨は、地域に持続可能な医療提供体制を残すために経営を強化するようにと記されている。その中には、現在対応している新型コロナウイルス及び今後発生すると思われる新たな感染症の対応等も公立病院が対応することになっている。以前は、西諸医療圏の中での経営統合や再編が趣旨だったが、現在は各医療機能、役割分担、連携を主な柱としている。今後、在宅復帰のための地域包括ケア病床の増床も検討している。また、国からは在宅医療も検討するよう示されている。今後、公立病院として機能面でも対応しなければならぬことが多々あり、調査委託業務結果を見ながら検討し、小林市・高原町とも連携をはかりながら公立病院経営強化プランを策定し、それぞれが地域にとって必要な病院として残るようしていく。

総務教育常任委員会

委員長 遠目塚 文美

令和5年9月定例会

産業厚生

常任委員会

報告

9月定例会において、当委員会に付託された議案6件・認定4件の審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決及び認定すべきものと決まりました。

以下、主な議案の審査内容を抜粋して報告します。

①議案第40号 えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について

「電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律」の公的個人認証法の改正法が施行されたことに伴い、コンビニ等で個人番号カードに加えて、スマートフォンに搭載した電子証明書を使用して各種証明書の取得ができるようになることから、印鑑登録証明書の取得ができるよう、印鑑登録及び証明に関する条例の改正を行うものです。

Q 印鑑登録及び証明に関する市民への説明や周知はどのようにされるのか。

A コンビニにおける印鑑登録証明書がマイナンバーカードで取得できていたのに加え、スマートフォンでも証明書が取得できるようになる。国のデジタル化の中の政策の一環として位置づけられているもので、サービス全体像については国の方で広報活動が行われる。

②議案第41号 えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について

「農業経営基盤強化促進法（以下「基盤法」という。）等の一部を改正する法律」が、令和5年4月1日に施行され、「農業経営基盤強化促進法による不動産登記に関する政令（以下「政令」という。）」が令和5年4月1日に廃止された。今回改正を行うことで、農地取得時の所有権移転登記に関する登記の特例を引き続き利用することができるものです。

Q 改正の理由はなにか。

A 基盤法が改正されたことに伴い、基盤法による売買が本則

上廃止されるが、附則の中で2年間は基盤法による売買は行われるという規定が変わった。それに伴って、

この政令が廃止になったが、上位法の基盤法の附則の中で2年間は継続するという規定が生きており、根拠をその上位法の基盤法による嘱託登記という位置づけに変えるためである。

③認定第2号 令和4年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

Q 事業成果の中に、AIを活用した検診データやレセプトの分析による対象者ごとの特性に応じた受診勧奨を実施し、特定検診受診率の向上を図ったとあるが、このAIを活用した検診データは具体的にどのようなものか。

A 特定健康診査等の事業は法で定められ、保険者の各検診データについてKDBというシステムがあり、レセプトの情報や健康診査を受けた結果等は、システムに反映される。そのデータをもとに、受診勧奨するパターンを未受診の方と受診した方それぞれに、いくつかの通知パターンで振り分ける。そのデータ分析にAIを活用しており、

それぞれに応じたパターンで振り分けし受診勧奨通知を発送している。

④認定第5号 令和4年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について

Q 監査委員からの意見書には、企業訪問や新聞広告掲載、WEB媒体などを活用したPRが精力的になされているとある。新型コロナウイルスの中で企業訪問はどういったところに行ったのか。

A 九州北部を中心に137件を訪問した。

産業厚生常任委員会
委員長 吉留 優二

令和5年9月定例会

予算審査

特別委員会

報告

9月定例会において当委員会に付託された議案1件について審査を行いました。

審査の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決まりました。以下、議案の審査内容について報告します。

議案第43号 令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について

【総務費】

移住・定住推進事業費

210万円

Q 移住者住宅取得支援金は、市内業者を活用して住宅を取得した場合は上限70万円、市外業者を活用した場合は上限50万円、それぞれ子育て加算金上限20万円を含むとあるが、子どもの数に関係はないか。

A 18歳未満の子ども1人につき10万円を加算し、2人までが上限としている。

地域公共交通対策費

557万8千円

Q このタクシー利用助成金は、タクシー会社に助成をするのか。

A 助成の対象は、利用者である。

【民生費】 児童福祉総務費

4,329万7千円

Q 子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査等委託料の220万円を減額し、子ども計画ニーズ調査等委託料の330万円に組み換えたのか。

A その通りである。

Q こども計画ニーズ調査等の委託料が110万円増額になっている要因は。

A こども計画が国のこども基本法に関連して、年内にこども

大綱が策定されることになったため、子ども・子育て支援事業計画のみでニーズ調査を組んでいたのが、

子ども・若者計画と子供貧困対策推進計画、子ども・子育て支援事業計画、次世代育成支援行動事業計画という4つの計画が含まれることになり、増額となった。

Q ニーズ調査は重要で回答率を高める必要があると思うので、委託先と協議をして、漏れがないように調査してもらいたい。

A アンケートの方法は、紙ベースのものと電子での調査も考えている。

Q ニーズ調査については、調査する項目等もある程度国が決めるのか。

A こども基本法における、こども大綱の内容は公表されておらず、現在審議中である。

Q ニーズ調査の委託は来年度か。

A 国の大綱が発表される年内か、その前の時点で、ある程度中身がはつきりすると思う。委託の時期は、国の動向を注視しながら、なるべく早く取り組む。

【衛生費】

担金 南九州中部地域医療連携協議会負担金 2万8千円

人吉球磨圏域の地域産科中核病院

(人吉医療センター)への医師確保及び南九州中部地域医療圏の連携並びに医療提供体制充実を図るため、人吉球磨圏域、伊佐市、えびの市で構成される南九州中部地域医療連携協議会に係る負担金になります。

Q この協議会に加盟している人吉球磨圏域を含めた12市町村の内訳は。

A 球磨圏域は、人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村。宮崎県えびの市、鹿児島伊佐市である。

Q 負担金の出生割2万2,250円の算出根拠は。

A 令和元年度・令和2年度・令和3年度の3年間の出生割の平均で算出した。

【商工費】

誘客事業費

国立公園90周年記念事業委託料

386万円

Q 国立公園90周年記念事業は、えびの市単独事業として行うのか。

A 観光誘客のきっかけとするべく、えびの市単独で実施する。

Q 委託先の選考は、どのような形で行うのか。

A 公募という形ではなく、ある程度指定した形で、事業を実施したいと考えている。

Q 当初予算ではなく、9月の補正予算で上げた理由は。

A 当初予算を編成する段階では、90周年事業を取り組む予定はしておらず、今年度4月以降に環境省側から、国立公園の霧島地域が90周年を迎えるという説明があったので9月定例会に提案した。

【教育費】

学校給食費負担軽減補助金

1, 825万9千円

Q 物価高騰している中で、一食当たりの単価は、現在の単価で大丈夫か。

A 現在、小学校が219円、中学校が259円という単価で提供している。今回物価高騰対策で約6%を上昇分として支援している。来年度も実施できるように教育委員会としてもお願いしていく。

予算審査特別委員会

委員長 中山 義彦

令和5年9月定例会

決算審査

特別委員会

報告

9月定例会において当委員会に付託された認定1件について審査を行いました。審査の結果、全会一致で原案のとおり認定すべきものと決まりました。以下、認定の審査内容について報告します。

認定第1号 令和4年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について

【教育費】

青少年健全育成事業費

成人式報償金

20万5, 850円

Q 以前の成人式と、今回の実行委員会及び成人が主体となった成人式で、どのような違いが出てきているか。

A 各地区2名ずつ合計8名の実行委員で、式典が終わってからのアクションを自分たちで企画して

もらったため、以前のアトラクションより盛大になった。

文化財保護管理事業費（臨時）

121万8, 808円

Q 飯野イチョウの木は天然記念物として保存できる状態なのか。

A 老木化している樹木については、京町の荒神堂にあるタブ大樹は樹木医が治療しており、飯野イチョウや木崎原古戦場跡六地藏塔周辺のスギの木は樹木医の無料診断制度等を随時行っていく。

【商工費】

観光協会補助金

1, 673万2, 134円

Q 市外来訪者に、観光協会職員が一人で対応していたが、他人事みたいであったとのことである。補助金活動の効果は、来訪者にえびの市の魅力を伝えて、その人達が情報を発信してまた来てもらうことだと思う。担当課も観光協会との協議で、指導や助言が必要かと思うが。

A 観光協会の取り組みについては、発信力が弱い部分も以前からあり、令和4年度はSNSで発

信数を増やした。対応についても丁寧な対応を心掛け、道の駅の観光案内所や、えびの市の観光施設どこでも、ある程度の観光案内ができるようにしていく。

足湯の駅えびの高原管理費

2, 088万4, 441円

Q 令和5年度も引き続き補償金が出るような契約になっているのか。

A 補償金は令和4年度までということでJAえびの市と協議ができ、令和5年度からは赤字補填は行わない。

【総務費】

広報事業費

952万3, 336円

Q ホームページをリニューアルした後の閲覧数に変化があったか。

A 令和4年3月にホームページをリニューアルしたが、閲覧数は、令和2年度及び令和3年度が新型コロナウイルスの関係で非常に閲覧数が伸びたので、それと比較すると令和4年度の閲覧数に関しては減っている。

Q LINE登録者数を増やすのと、ホームページのPRをしていくべきと思うが。

A LINEのリッチメニューを変更し、よりお届けしやすいLINEの活用を検討している。

移住・定住推進事業費 360度VRコンテンツ使用料

Q 360度VRコンテンツで効果があったか。

A 空家バンクにおける空家紹介を360度カメラを活用して行っており、令和4年度は、36の物件をVRで紹介し、延べ2,475人の方が見ている。

国際交流センター外壁等劣化調査 業務委託料

47万1,900円

Q 調査結果は出ているのか。

A 調査結果の内容については、浮き幅が20cm以上の箇所が2箇所、20cm以下の箇所が20箇所、ひび割れが399箇所、損部0.1m×0.1mが1箇所と0.1m以上が1箇所、鉄骨の露出が4箇所、塗膜浮きが417箇所という報告を

受けている。令和5年度に屋上部分の修繕を行い、残りの部分の修繕も計画的に行っていく。

【衛生費】 乳幼児健康診査事業費

293万5,475円

Q スポットビジョンスクリーナー検査の要精密検査件数17件は、令和3年度7件より増えている。導入した後、どのような変化があったか。

A 今までは問診等でした対応で、きなかったところが、スポットビジョンスクリーナーを使うことによって要精密検査の必要性がすぐに出てくるようになった。

【民生費】 手話奉仕員等派遣委託料

59万8,600円

Q 派遣した事業の項目と回数

A 全体で159回派遣をしており、一番多いのがろう者に對して、病院等に引率して通訳をしたのが多い。

【農林水産業費】 農業委員会交付金事業費

1,617万2,306円

Q 農業委員及び最適化推進委員には、農地法や土地改良法の法律関係についてどのような指導、研修を行っているのか。

A 研修は、昨年度7回実施し、県が主催する研修、九州・沖縄ブロックでの研修や県の農業会議が主催する研修等が含まれている。また、これ以外にも中間管理事業に関する制度の研修、遊休農地関係の説明、研修といった市の農業委員会独自の説明を毎月の総会で行っている。

Q 研修は行っているが、えびのの農地を守っていくために委員が法律についてしっかり理解する必要があると思うが。

A 年間活動を行いながら農地法第3条、4条、5条を含めすべての法律についてしっかり研修を行い、事務局もフォローしていく。

新型コロナウイルス感染症対策費

1,435万2,126円

Q 不用額が生じた理由は。

A 農家が使う肥料代が高騰した

ことに伴い、農業経営の安定を図るため、市単独で令和4年1月から同年の12月までに購入した化学肥料等を対象としていたが、国が令和4年6月から令和5年5月を対象とする同様の事業を創設した関係で、重複して支出できないとの県の指導を受けたため、当初の市の単独事業の対象期間から国の対象期間を省いた令和4年1月から5月を対象とした事業になったためである。

決算審査特別委員会

委員長 中山 義彦

水道の長期断水の予防策を求める



阿部 哲己
議員



質問 又五郎谷水源からの導水管が破損した場合の影響を問う。

水道課長 長期間の断水はこれまで起きていない。最悪の想定をした場合、断水範囲は市内の約9割、期間は約1ヶ月と想定される。

質問 長期間の断水を生じた場合、臨時に設置される給水所から自宅まで水を運搬する市民の苦労は大きく、水洗トイレが使えず、お風呂にも入れない状態が30日も続くとなると、大変な事態である。断水期間を約20日短縮できるように、応急復旧資材を購入するなど、予め準備することを提案する。

市長 災害時の相互応援協定の九州各県及び山口県の自治体保有資材借用で対応可能と考えている。

質問 本市で起こる災害復旧に

必要な一定量の復旧資材は、本市が自らで備蓄するべきと考えている。例えば30分を備蓄しておけば、その範囲であればすぐに対応できる。被害が大きく、備蓄量では不足する場合には、近隣市町村からの応援をいただくというように、共に頼る前に自助努力での準備が大切ではないか。

市長 具体的にどう供給していくのか水道課と検討していきたい。



市道整備と水道水確保について



栗下 政雄
議員



質問 市道大迫霧島線は、村岡市長のおかげで大分進んでいる。小野田牧場、小多田牧場入口までは、早期の改良は出来ないのか。

市長 市道大迫霧島線は、市道みやま霧島線のサーキット場横を起点として、全延長約3.0キロメートルの道路改良事業を平成28年に着手して、現在も実施している。令和4年度までの実績は改良延長1,293メートル、工事費1億7,826万4,611円となっている。令和5年度事業は、6月8日に入札を執行しており、既に工事を着手している。小野田牧場の入り口まで進捗をなるだけ早めることで早期完成に向けて頑張っていく。

質問 霧島地区は、畜産農家が

多く、飲み水が不足している。せめて道路だけでも早期に完成できないか。

市長 道路に関しては、平成28年度から事業をスタートしている。水道に関しても、現在事業が進んでおり、地元の方々にも説明をしながら、しっかり進めていく。



市道大迫霧島線

一般質問

Well-beingなまごけへん



遠目塚 文美
議員



質問 えびの市民図書館とえびの市内小・中学校との連携は。

社会教育課長 3ヶ月毎に図書

司書が選書した30〜50冊程度を、移動図書館で各学校へ届けている。

教育長 今後更に踏み込んで、

安定的・持続的な読書推進のため、ICTを活用した蔵書管理の提携事務や教職員が市民図書館から支援を受けられる体制づくり等、実現可能なものを調査検討していく。

質問 台風6号による多くの被害が出ています。過年度復旧工事

場所等、毎年被害が出ている場所もある。抜本的対策やクルソン峡へ通じる市道・河川の復旧現状は。

建設課長 クルソン峡へ通じる

市道大河平上村線は、昨年の災害復旧工事中に再び被災している。



台風6号直後の市道大河平上村線

市長 クルソン峡についての復旧は、県等に要望活動をしている。
質問 えびの市内にある防衛施設は、重要土地等調査に基づく指定を受けているのか。

基地・防災対策課長 今年の9月11日の第3回土地等利用状況審議会で、えびの駐屯地が注視区域、えびの送信所が特別注視区域の候補として提示された。今後、国による意見聴取等の調査が実施される。

王子原運動公園野球場整備



川野 亮
議員

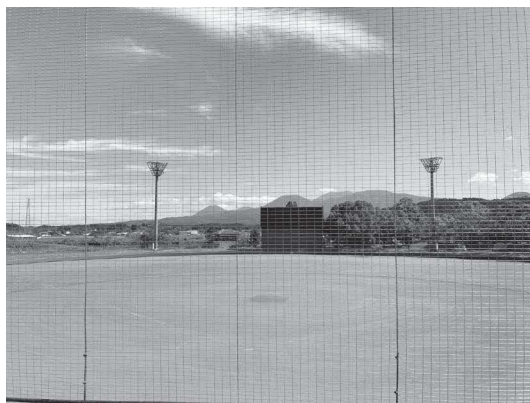


質問 令和4年12月定例会にて王子原運動公園野球場の整備は慎重に協議すると答弁いただいたが、協議ほどの程度進んでいるか。

社会教育課長 野球場施設は経年劣化があり、大規模な改修の必要性があることは認識している。公共施設等管理計画、体育施設等修繕管理計画に基づいて協議している。現時点では、令和9年に開催される国民スポーツ大会のボクシング会場である市民体育館の改修が最優先。王子原運動公園野球場を中心に、他の体育施設改修については、必要な財源確保を検討し、慎重に協議していく。

質問 6〜9月の日中の球場内は大変暑く、ベンチ内でもかなりの温度である。県内外からの利用

の多い野球場であるので、熱中症対策としてベンチ内に壁掛け扇風機の設置を検討できないか。
社会教育課長 熱中症予防など安心安全対策は深く認識している。利用される方の熱中症対策としての環境整備を検討する。



王子原運動公園野球場

市の財政は



加藤 正善
議員



質問 市の財政の現状を問う。
財政課長 基金は市の貯金のよ
うなものであり、平成26年度より
は増えており、自主財源比率とし
ては伸びている。

市長 財政運営には神経を尖ら
せており、基金も財政もほかの市
町村よりは安定している。今後、
財政出動が必要な時に財源が無い
という事がないよう、将来に負担
が出ぬよう、注視していく。

質問 基金の現状を問う。

財政課長 財政調整基金、公共
施設等整備基金及び減債基金は約
55億円あり、平成25年度と変わら
ない状況、その他の特別目的基金
等と加えると約72億円であり、人
口規模としては多く持っている現
状で、危機的状況ではない。

市長 財政が今すぐ破綻する状
況ではなく、常に財源を確保しな
がら、議会にチェックしてもらい
つつ、運営していく。



えびの市防災食育センター

高齢者・要介護者の支援強化を!!



吉留 優二
議員



質問 身体能力の衰えは、日常
生活に大きな影響を及ぼす。高齢
者が住み慣れた地域で安心して自
立した生活を継続して営むために、
支援サービスの支援強化について
見解を伺う。

市長 サービス希望者には介護
予防等の提供は出来ている。当市
は他の自治体より高齢化が進んで
いるので、事業所の意見や連携を
取り状況把握に努めていく。

質問 タクシー券の助成金の上
限を上げ、利用区間の制限をなく
す対策はできないか見解を伺う。

市長 タクシー券の枚数を増や
したところであるが、すべての利
用形態を補助するのは難しいとこ
ろである。隣の病院等に行く利
用サービスの提供は難しく、市内

の事業者を使い移動を緩和して行
くことに重きを置いていく。
質問 高齢者がいきいきと安ら
ぎのある日々の生活が送れるよう
に補聴器購入費用助成を行うべき
と考えるが市長の見解を伺う。
市長 厚生労働省宛てに新たな
要望議案として、加齢性難聴の補
聴器購入費の補助整備の創設につ
いて国に提出した。



安らぎある日々の生活

一般質問

生きがいを育める地域づくりを



松窪 ミツエ
議員



質問 生涯現役社会を目指して、シニア層の方々の幸福の実現に向け「生きがい」を育むことが重要だと考えるが。

市長 生涯現役社会の環境づくりは大変重要である。シルバー人材センターにおける就労の確保等、社会参加の場や就労機会を提供し、地域全体で生涯現役社会の取り組みを進めようとしている。

質問 本市における、65歳以上の就業状況の実態はどうか。

観光商工課長 令和4年度の企業調査では、回答企業48社の従業員数2,217人中、65歳以上は213人中で9・6%であった。

質問 シニア層の就労支援の具体的な取り組みはどうか。

福祉課長 庁内設置の生活支援



室では、就労準備が必要な方への支援、また、無料職業紹介所とマッチングを行うなど就労希望者の支援を行っている。

質問 介護事業でシニア層の生きがいを育めるための取り組みは、**介護保険課長** 暮らしネットサポーター等の養成講座終了後、百歳体操やボランティアなどの活動に従事されて、生きがい、やりがいを感じられていると思っ

ている。

人口減少について



後庵 卯
議員



質問 人口減少の要因、課題は。**企画課長** 出生数の減少、若年層の進学・就職による転出傾向あり。出産・子育て支援、地元就職促進、UIJターン促進を行う必要がある。

質問 2040年過ぎに人口が1万人を切る可能性と、市の展望は。

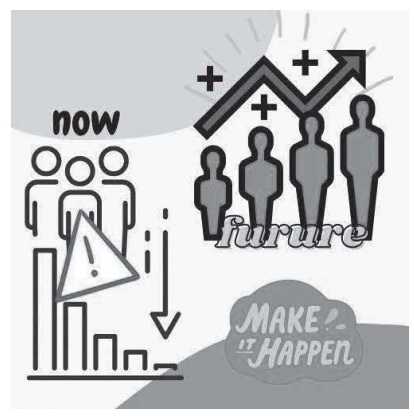
企画課長 市の対策としては、①合計特殊出生率を維持②年間100名の移住者を確保するための各種施策を進める③えびのインター産業団地への企業立地を促進し、人口減少抑制2045年に人口1万人を維持することを目標としている。

質問 移住者の目標数を下回っているようだが。

しているようだが。

企画課長 都市部への流出、新型コロナウイルスの影響等で出生数の低下があり、現在は目標値を下回っている。

質問 人口減による市の運営への影響は。**企画課長** 官民間問わず、様々な分野でサービス効率さが下がり、サービスの維持継続ができなくなる恐れがある。



観光地としての在り方



小宮 寧子
議員



質問 えびの高原キャンプ村の浴場施設は、昨年リニューアルオープンしたものの、使用できない日が多く、利用者から苦情が寄せられている。今後の対策は。

観光商工課長 ポンプの水圧点検や補修、冬場の凍結による配管の破損など管理が不十分であったため使用できない期間があった。これまでの教訓を活かし、管理方法や冬場の漏水対策を検討する。

質問 委員会の調査で、浴場施設の清掃や管理体制が適正に行われていない状況が確認された。今後の対策は。

観光商工課長 指定管理者とともに、事前に意思疎通を図り定期的に現地を確認し、適切な施設管理を徹底していく。



リニューアルした浴場施設

市長 最終的な責任は市にある。管理を徹底するためしっかり指導していく。

質問 外国人観光客が増えつつある。道の駅からえびの高原までの交通手段について市の考えは。

企画課長 路線バスの定期運行は現実的ではない。民間のタクシーの活用や、アウトドアステーションに置いてあるEーバイクも有効な手段の一つと考えている。

野菜、畜産業の苦境への対策は？
地域商社は？



本田 英俊
議員



質問 えびの市高原野菜出荷組合が昨年九州農政局に、野菜の安値・経費高騰への対策の陳情に行ったが返答はあったのか。

畜産農政課長 この要望は農水省へ上げられ、検討中と考える。市長が県選出国会議員の方へも要請をした。

質問 畜産農家への飼料高・子牛価格低下対策については。

畜産農政課長 国の配合飼料価格安定制度で一部補填され、市も6,700万円の支援を実施。子牛価格下落には、国の和子牛生産者臨時経営支援事業などがあり、市も予算をお願いしている。

質問 地域商社の採用条件は。

企画課長 新たな職員の採用条件に年齢、性別は特に無い。

質問 ふるさと納税が増えている理由は。

企画課長 返礼品の見直しにより主力品をサイトに掲載できない期間が長くあったためである。

質問 市民から職員の数を減らせない理由をよく聞かれるが、職員数が減らせない理由は。

市長 業務が複雑高度化し、増えている。業務量調査を行い、業務の効率化を図っていく。



高冷地ニンジン畑

一般質問

交通弱者への支援の充実を図れ



中山 義彦
議員



質問 産業団地で発表できる企業はあるか。

市長 そういう企業はない。

質問 私自身も企業を訪問してお願いしてくる。市長の誘致について相手への気持ちの伝え方は。

市長 相手に会って誘致しており、アドバイザー等から情報を入力している。

質問 産業団地の目的は、まちづくりであり、多種多様な企業誘致で働く場を創出して人口減少に歯止めをかけるで間違いはないか。

市長 目標は変わっていない。

質問 西諸圏でどういう連携をして、市立病院経営をどのように健全化していくのか。

市長 市民への医療サービス提供の状況が低下しないよう連携を

深めて今の水準を保てるように市民ニーズに合った病院経営を目指していく。

質問 県と宮崎交通の事業で、シニアパス運行が始まるが、学生向けにジュニアパスを発行する考えはないか。

企画課長 若年層への支援については、どういった取り組みができるものか、研究段階ではあるが取り組んでいく。



市立病院の全景

「誰も」取り残さない社会を!!



田口 正英
議員



質問 重層的支援体制整備事業を取り組む目的は。

福祉課長 地域における孤立や排除をなくし誰もが役割を持ち、お互いに支え合うことができる地域共生社会の創出が求められている。地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応するための包括的な支援体制づくりを実施するため、①本人や家族の課題について属性を問わず受けとめる相談支援。②本人や家族に寄り添い社会とのつながりを目指す参加支援。

③地域における多様な地域資源を生かした活動の場を通じて、社会的孤立を防ぐ地域づくり支援。この3つを一体的に実施するものである。

質問 「我が事・丸ごと」の地

域づくりとは。

市長 地域共生社会を目指す中で地域における他人事を「我が事」にかえていくように働きかけ、地域課題を「丸ごと」受けとめる体制づくりに取り組む地域づくりを推進するための理念である。



各常任委員会閉会中審査報告

総務教育常任委員会

管内視察調査報告

■日時・場所

- 令和5年8月23日(水)
- えびの市内の体育施設
- えびの市民図書館
- えびの市歴史民俗資料館



■目的

- 指定管理者として運営・管理をされている施設の管理運営状況及び施設等老朽化などの現地調査

■調査内容

- 【水辺の築校】利用者から芝刈りの頻度増加要望
- 倒木の処理、担当課に早期対処要望
- 【えびの市相撲場】侵入通路の修復が必要
- 【えびの市民体育館】2027年開催予定の国民スポーツ大会(宮崎県)にてボクシング会場の予定であり、改修等を実施
- 更衣室、トイレの改修が必要
- 【飯野駅前地区体育館】草刈り等の維持管理が望まれる
- 隣接のテニスコート活用と除草等の維持管理対策の検討
- 【神社原運動公園】南側、高速道路へポール等飛来防止ネットの高さ増強が必要
- 枯れ木対策の検討
- 【上江地区体育館】昼間の利用者増の促進

【加久藤地区体育館】

- 改修等も終了し利用者の満足度を感じた

【王子原運動公園・王子原野球場】

- トイレの改修が必要

- 駐車場拡張の要望

【真幸地区体育館】

- 複数個所の照明等改修が進んでいる

【弓道場誠心館】

- 施設外に矢が飛び出ないように施されている防護ネットが老朽化している為、改修を要望(すでに担当課対応済)

【湯田地区河川公園】

- グラウンドゴルフ、パークゴルフ等の利用者が多く健康促進施設として、良好

【永山運動公園】

- 増設、改修、拡張、新設等が終わったので広報活動、利用誘致活動の促進が望まれる

【永山河川敷運動公園】

- 維持管理などさらなる検討が必要

【まとめ】

- 新設や改修などは、順次進行しているようだが、より施設管理、維持管理を強化し、市民の方々をはじめ多くの利用が増えることを望みます。

【えびの市民図書館】

- 平成6年に完成。資料館と同じ指定管理者

による運営管理。

- 図書館内は静かで、読書、勉強する場所もあり、活用して欲しい。



- 図書館で厳選した本を市内の保育施設、小学校にブックランド号で配達もしている。

- 書庫には多数の絵画のレプリカも所有しており、貸し出しも可能とのこと。

- WiFiの設置の検討が必要。

- 【えびの市歴史民俗資料館】

- 平成6年に図書館と同時に建てられた資料館。えびの市で出土した1万年前からの土器、古墳時代の剣、戦国時代の刀、明治に使用された農具、昭和には主流だった黒電話等、様々な品物を展示してある。

- えびの市で出土した土器の修復は、奥の部屋で行われている。

- 島内古墳には、まだ多数の墓、土器が存在すると考えられているが、対応が間に合わないため、発掘はされていない。

- 1万年前からえびのに定住、生活していた先住民の人達を、身近に感じられる施設である。



総務教育常任委員会

委員 加藤 正善
委員 本田 英俊

◎ 各常任委員会閉会中審査報告 ◎

■日時・場所

令和5年8月21日（月）

えびの高原キャンプ村

足湯の駅えびの高原

白鳥温泉上湯

■目的

施設のリニューアル状況・改修状況の調査

■調査内容

【えびの高原キャンプ村】

● 浴場施設は平成元年に整備されてから30年以上が経過し、老朽化や湯温の低下があったため、令和2年度には新しい設計が行われたが、新型コロナウイルスの影響で半導体や電子部品の供給が難しく、工事完了は



令和4年5月25日となった。

● 浴場施設は男女別大浴場・シャワー室2室・家族風呂などが備えられ、更にグランピング施設として3種類のケビンがリニューアルされた。

● 浴場施設・キャンプ施設・ケビンにて清掃不備の箇所が散見された。

【足湯の駅えびの高原】

● 駐車場の整備は、令和3年度の予定だったが、水道本管の埋設後舗装を行う必要が生じ、令和4年度に実施された。

● 足湯の駅1階は令和元年度から令和3年度にかけての整備が行われ、現在、販売所・案内所・休憩スペース等が運用中である。トイレは新型コロナウイルス対策として非接触型に改修された。

● 2階部分の整備は令和5年度に着手予定で、韓国岳を望める正面窓を、大きな1枚



ガラスへ交換し、眺望を活かした飲食スペースやカフェ、キッズスペースの設置が計画されている。

【白鳥温泉上湯】

● 令和3年度実施の劣化度調査にて、浴場部分を中心とした腐食等による劣化状況が深刻であり、危険な状況であると診断され、令和4年度は休業とし、コロナ禍・アフターコロナを考慮した受け入れ環境の整備と位置づけられ、施設の整備を行った。これには新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が活用された。



産業厚生常任委員会

委員 後庵

卯

◎ 特別委員会閉会中審査報告 ◎

【日時】 令和5年7月24日（月）

【場所】 霧島市議会（鹿児島県）
都城市議会（宮崎県）

【研修内容】

① 霧島市議会（鹿児島県）

霧島市議会の議会公聴委員会では、先ずは市民が手に取って見たくなるように、フルカラー印刷で写真やレイアウト等で目を引く工夫がされ、読みやすいように文字数や議会用語を減らし、内容を簡潔に書いている点が、えびの市議会の議会だよりとは大きく異なると感じた。霧島市議会の議会だよりは、写真・



霧島市議会

イラストを多く使い、議案の内容もタイトルと短い文章で表現されており、ページを開いた時にパッと目に入り、わかりやすいと感じ、詳細を知りたい場合は、ホームページに繋げるようにしてあるので、えびの市議会でも参考にして検討する必要性を感じた。また、市民との会話で議会だよりを使って話ができるように、議員が常に持ち歩いて使える議会だよりにしたいと取り組まれている。

今回、新たに得ることが出来た学びや気付きを、今後のえびの市議会の議会だより制作に活かしていきたい。

② 都城市議会（宮崎県）

議会だよりの校正回数は同じでしたが、最終の校正時に次号のテーマと全体の構成及び執筆（原稿）担当者を決めているので、スムーズに取り組んでいる。

基本は、読みやすさ・わかりやすさ・不快感・言語の誤用・誤字脱字に留意した議会だより作りを心掛けています。一般質問のページは、今年度に入ってからQRコードのみの掲載となっている。その理由は、委員会内での訂正忠告等を受け入れなかった議員の答弁をそのまま掲載した結果、市長や市民から多数の苦情があり、このような事態が二度と起こらないように改善策等の様々な協議を重ね



1 えびの会（会派）
えびの 太郎（氏名）
動画QRコード

- 一般質問の項目
- 1 えびの市の子育て対策について
 - 2 土木行政について

都城市議会の議会だより
一般質問のページ（イメージ）

た結果、動画配信（YouTube）で全ての質疑応答のやり取りを観てもらおう手法に替えた。動画配信を読み取るQRコードに対応できない市民もいるなど様々な課題もあるが、再生回数は順調に伸びているということだった。今後、えびの市議会でも先進議会の取り組み等を参考にしながら、調査・研究を進めたいと考えている。

議会広報特別委員会

委員 西原 義文

南九州中部市議会議長会議員研修会

【日時】 令和5年7月13日（木）

【場所】 ホテルサン人吉

【参加議会】

人吉市議会（熊本県）

伊佐市議会（鹿児島県）

えびの市議会・小林市議会

（宮崎県）

【研修内容】

演題…

「3県境の周産期医療の現状」

講師…愛甲産婦人科麻酔科医院

愛甲 康会長

現在、えびの市を含む西諸医療圏では、分娩可能な病院がなく、多くの妊婦さんがえびの市外や隣県・人吉市の産婦人科医院にて受診・出産されています。安心・安全なお産のためには、バックアップする周産期医療センターが必要ですが、これまで対応可能だった人吉医療センターは、現在医師不足のため婦人科のみとなっていて、周産期医療体制が整っていない状況です。今回、愛甲先生のお話の中で、3県境の周産期医療構想が提案され、産科医療の拠点病院を



南九州中部市議会議長会議員研修会

人吉医療センターとすることや、それに伴う医師の確保の必要性について、県境を越えた形で各県や各県の大学等への要望を懇願されました。（※今期提案されたえびの市一般会計補正予算にて、南九州中部地域医療連携協議会負担金を計上）

持続可能なまちとなるためには、安心して生命を育める環境整備は必要不可欠であり、喫緊の課題です。周産期問題だけでなく、医療福祉・経済・観光等、様々な分野での広域連携が必要な時代となっています。今後も県境を越えた形での議会の連携・学び等を深めるよう努めていきます。

遠目塚 文美

飯野高校生の議会広報特別委員会傍聴体験

先日、宮崎県立飯野高校の生徒さん達が、議会広報特別委員会の傍聴体験に來られました。今回の傍聴体験は、キャリア教育の一環として昨年からは飯野高校で取り入れているジョブシャドウイング（職場体験授業）として、日頃議員がどのような活動をしているのかを、実際に現場に同行して見学するものです。この日は、議会だよりの原稿の校正作業の過程や様子を見学してもらいました。初めて見学した高校生からは、「議会と聞いて真面目な硬い雰囲気を感じていましたが、アットホームな雰囲気でした。」や「文章の句読点の位置の確認や、〈子供〉の供を〈子ども〉に書き換えるなど、細かい内容も確認するのだと学びました。」などの感想がありました。また、実際の議会だよりの誌面を読んでもらった感想を尋ねたところ、「文字が結構多くて、言葉が難しい。」などの率直な意見も話してくれました。誰

り作りに取り組むためにも、とても大切な意見でした。今後もこのような機会を活かしながら、より良い議会だより作成に努めます。



新議会構成決まる

令和5年10月臨時会において、新たな議会構成が決められました。

議会構成は以下の通りです。

議長	竹中雪宏
----	------

副議長	松窪ミツエ
-----	-------

総務教育常任委員会	
委員長	遠目塚文美
副委員長	小宮寧子
委員	加藤正善
委員	本田英俊
委員	阿部哲己
委員	田口正英
委員	竹中雪宏

※所管する課

総務課、企画課、財政課、基地・防災対策課、市民協働課、財産管理課、税務課、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、水道課、市立病院、教育委員会に関する事項及び他の委員会に属しない事項

主な調査内容

- (1) 財産管理について
- (2) 教育行政について
- (3) 財政・行政改革について
- (4) 医療行政について
- (5) 上水道行政について

産業厚生常任委員会	
委員長	川野亮
副委員長	後庵卯
委員	吉留優二
委員	中山義彦
委員	西原義文
委員	栗下政雄
委員	松窪ミツエ

※所管する課

市民環境課、健康保険課、介護保険課、観光商工課、畜産農政課、建設課、農林整備課、企業立地課、こども課、福祉課、農業委員会に関する事項

主な調査内容

- (1) 農林畜産振興に関する事項
- (2) 福祉に関する事項
- (3) 環境に関する事項
- (4) 保健衛生及び医療に関する事項
- (5) 観光及び商工に関する事項
- (6) 土木耕地に関する事項
- (7) 産業団地及び企業立地に関する事項

議会運営委員会	
委員長	田口正英
副委員長	吉留優二
委員	阿部哲己
委員	中山義彦
委員	遠目塚文美
委員	松窪ミツエ

主な調査内容

- (1) 会議規則、委員会条例等に関する調査について
- (2) 次の会期（定例会等）の運営について
- (3) 議長の諮問に関する事項について
- (4) その他議会運営に関することについて

小林・えびの間道路改良促進期成同盟会			
監事	竹中雪宏		
理事	川野亮		
会員	後庵卯		
会員	吉留優二		
会員	中山義彦		
会員	西原義文		
会員	栗下政雄		
会員	松窪ミツエ		

えびの市畑地かんがい事業推進協議会			
委員	竹中雪宏		
委員	吉留優二		

都市計画審議会			
委員	竹中雪宏		
委員	本田英俊		
委員	中山義彦		

議会広報特別委員会			
委員長	西原義文		
副委員長	本田英俊		
委員	加藤正善		
委員	後庵卯		
委員	中山義彦		
委員	遠目塚文美		
委員	松窪ミツエ		

人権同和問題啓発推進協議会			
会員	竹中雪宏		
会員	松窪ミツエ		
会員	遠目塚文美		
会員	川野亮		

西諸広域行政事務組合議会			
議員	遠目塚文美		
議員	田口正英		
議員	西原義文		

えびの市森林・林業・林産業活性化議員連盟			
会長	松窪ミツエ		
副会長	遠目塚文美		
副会長	川野亮		
事務局長	阿部哲己		
監事	加藤正善		
監事	後庵卯		

えびの市戦没者追悼奉賛会			
委員	竹中雪宏		
委員	松窪ミツエ		

議会報告公聴特別委員会			
委員長	吉留優二		
副委員長	阿部哲己		
委員	川野亮		
委員	小宮寧子		
委員	田口正英		
委員	栗下政雄		

えびの市青少年育成市民会議			
委員	阿部哲己		
委員	川野亮		

議会選出監査委員			
委員	小宮寧子		

他に、JR吉都線利用促進協議会、にしもろ定住自立圏構想推進首長議長会、霧島ジオパーク推進連絡協議会、宮崎県鉄道整備促進期成同盟会、高速自動車国道建設促進宮崎県期成同盟会、川内川上流河川改修期成同盟会、飯野高等学校を守り育てる市民の会、国道447号整備促進期成会、えびの市郷土芸能保存連合会等は議長のあて職となっています。

令和5年9月定例会 議案等審議結果表



1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	加藤	後藤	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
	報告第11号	専決処分した損害賠償の額の決定について	—	※質疑後、終結													
	報告第12号	令和4年度えびの市健全化判断比率について	—	※質疑後、終結													
	報告第13号	令和4年度えびの市資金不足比率について	—	※質疑後、終結													
	議案第39号	教育委員会の委員の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第40号	えびの市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第41号	えびの市使用料及び手数料条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第42号	えびの市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
予算審査特別委員会	議案第43号	令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第4号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第44号	令和5年度えびの市国民健康保険特別会計予算の補正(第2号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第45号	令和5年度えびの市後期高齢者医療特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第46号	令和5年度えびの市介護保険特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	議案第47号	令和5年度えびの市産業団地整備事業特別会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第48号	令和5年度えびの市水道事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	議案第49号	令和5年度えびの市病院事業会計予算の補正(第1号)について	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算審査特別委員会	認定第1号	令和4年度えびの市一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第2号	令和4年度えびの市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第3号	令和4年度えびの市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第4号	令和4年度えびの市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
産業厚生	認定第5号	令和4年度えびの市産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	認定第6号	令和4年度えびの市水道事業会計決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務教育	認定第7号	令和4年度えびの市病院事業会計決算の認定について	認 定	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

2. 議員提出意見書

番 号	件 名	審議結果	竹中	加藤	後藤	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
議員提出意見書案第1号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書(案)	原案可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和5年10月臨時会 議案等審議結果表

1. 議案等

付託委員会	番 号	件 名	審議結果	竹中	加藤	後藤	本田	川野	阿部	小宮	吉留	中山	遠目塚	田口	松窪	西原	栗下
	議案第50号	令和5年度えびの市一般会計予算の補正(第5号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
	議案第51号	監査委員の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠



議会広報特別委員会
委員長 西原 義文

今年も残り少ない月日になってきました。今年も例年よりも猛暑が続き、寝苦しい日々もありましたが、ここ最近は朝晩の冷え込みも強く、秋の深まりを感じる時期になりました。えびの米の刈取り収穫も終わりました。者の方々の喜びの笑顔を目にしており秋の恵みに感謝です。

10月3日に臨時会が開催され、議会構成が変わり、議会広報特別委員会も今回から新しい委員での編集による議会だよりを市民の皆様にご覧いただき、身近な情報誌と感じてもらえる広報誌づくりを一同で目指してまいります。

